

2020 年度確認申請書類

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪国際福祉専門学校
設置者名	学校法人 夕陽丘学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養課程	心理・医療事務科	夜・通信	1,490 時間	160 時間	
		夜・通信			
教育・社会福祉課程	介護福祉科	夜・通信	1,920 時間	160 時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて一覧表を公開している。 http://www.oiw.ac.jp/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪国際福祉専門学校
設置者名	学校法人 夕陽丘学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。<http://www.oiw.ac.jp/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(株) ITセンター 代表	2019.4.1 ~ 2023.3.31	経営アドバイザー
非常勤	東野税理士事務所 副所長	2019.4.1 ~ 2023.3.31	税務アドバイザー
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪国際福祉専門学校
設置者名	学校法人 夕陽丘学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 設置している両学科に共通している目標は、“対人援助業務に携わる者”としての人格形成や人間力の構築・向上をめざし、支援を求めている利用者に寄り添える人材の育成が達成できるよう方針を定め、学習計画を作成している。 [心理・医療事務科] 「日本医療福祉実務教育協会」の認定を受け、卒業時に3つの医療事務が取得できるカリキュラムとしている。また、知識や技術の修得のみに留まらず、心理学も学んでいることで、利用者とのコミュニケーション時(情報収集)では、円滑に進めることができる。 [介護福祉科] 厚生労働省が規定している時間数を上回る学習量で、支援が求められているあらゆる場面に対応できる介護福祉士の養成に努めている。また、1年次後期より、介護福祉士国家試験に合格できるよう対策講座も設定している。	
授業計画書の公表方法	HPに掲載している。 http://www.oiw.ac.jp/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 教科の評価は各学科目ごとに100点満点で、60点以上を合格点とする。評価の割合は、試験(実技・レポート・提出物等を含む)評価70%、出席評価20%、平常(授業態度等)評価10%で行う。成績票には4段階で表し、『A・B・C・D』とする。「D(実習は5段階評価でE)」は不合格である。不合格と評価された科目については再試験(実習の場合は再実習)を受験することができる。 前期・後期での試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を上記に記載の割合で数値化し、分布状況を把握し、管理している。 但し、欠席時間数が2/3(実習のみ4/5)に満たない者は、履修認定及び認定試験を受けられない。進級にあつては、学業(実習)成績及び出席状況を確認し、進級認定会議を経て認定する。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各授業科目担当者から提出された前期・後期での試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を2.で記載の割合で数値化し、合計値を受講数で除した分布状況を把握し、管理している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HPに掲載している。 http://www.oiw.ac.jp/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を確認し、卒業認定会議を経て認定する。 本校所定の課程を修了した者には、学習評価のうえ卒業証書を授与する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HPに掲載している。 http://www.oiw.ac.jp/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪国際福祉専門学校
設置者名	学校法人 夕陽丘学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPに掲載している。 http://www.oiw.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	心理・医療事務科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,860 単位時間／単位	1,470 単位時間 ／単位	480 単位時間 ／単位	80 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2,030 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		39 人	0 人	5 人	19 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） “対人援助業務に携わる者”としての人格形成や人間力の構築・向上をめざし、支援を求めている利用者に寄り添える人材の育成が達成できるよう方針を定め、学習計画を作成している。 「日本医療福祉実務教育協会」の認定を受け、卒業時に3つの医療事務が取得できるカリキュラムとしている。また、知識や技術の修得のみに留まらず、心理学も学んでいることで、利用者とのコミュニケーション時(情報収集)では、円滑に進めることができる。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目担当者から提出された前期・後期での試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を、試験(実技・レポート・提出物等を含む)評価70%、出席評価20%、平常(授業態度等)評価10%の割合で数値化し、合計値を受講数で除した分布状況を把握し、管理している。

卒業・進級の認定基準
(概要) 試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を確認し、進級・卒業認定会議を経て認定する。 本校所定の課程を修了した者には、学習評価のうえ卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) クラス担任制を導入している。学生生活が、円滑に過ごせるよう時期に応じ、個別面談を実施している。また、就職や進学について学生個々の状況把握にも努め、相談・助言を行っている。学習面・生活面で問題点のある学生に対しては、保護者との連携も密に行い、改善がはかれるようアドバイスをしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	2 人 (50%)	2 人 (50%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 社会医療法人、医療法人、社会福祉法人等。			
(就職指導内容) 教員・進路指導担当者により、接遇マナー・一般常識・履歴書の書き方・作文・面接対策等の指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 医療秘書実務士、診療情報管理実務士、医師事務作業補助実務士、医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定、電子カルテ実技検定試験等。			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	4 人	18.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康上の問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) メンタル面で問題を抱える学生に対しては、臨床心理士資格を有し、公立の不登校生徒援助施設でのスタッフとして実務経験もある専任教員によるカウンセリングを行っている。学業が不振な学生に対しては、専任講師が中心となり、非常勤講師の協力も得て、補講や補充授業を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専 門 課 程	介護福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 250 単位時間／単位	1, 590 単位時間 ／単位	270 単位時間 ／単位	450 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2, 310 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		25 人	0 人	3 人	13 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） “対人援助業務に携わる者”としての人格形成や人間力の構築・向上をめざし、支援を求めている利用者に寄り添える人材の育成が達成できるよう方針を定め、学習計画を作成している。 「日本医療福祉実務教育協会」の認定を受け、卒業時に3つの医療事務が取得できるカリキュラムとしている。また、知識や技術の修得のみに留まらず、心理学も学んでいることで、利用者とのコミュニケーション時(情報収集)では、円滑に進めることができる。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目担当者から提出された前期・後期での試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を、試験（実技・レポート・提出物等を含む）評価70%、出席評価20%、平常（授業態度等）評価10%の割合で数値化し、合計値を受講数で除した分布状況を把握し、管理している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を確認し、進級・卒業認定会議を経て認定する。 本校所定の課程を修了した者には、学習評価のうえ卒業証書を授与する。
学修支援等
（概要） クラス担任制を導入している。学生生活が、円滑に過ごせるよう時期に応じ、個別面談を実施している。また、就職や進学について学生個々の状況把握にも努め、相談・助言を行っている。学習面・生活面で問題点のある学生に対しては、保護者との連携も密に行い、改善がはかれるようアドバイスをしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	1 人 (14%)	6 人 (86%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 社会医療法人、医療法人、社会福祉法人等。			
（就職指導内容） 教員・進路指導担当者により、接遇マナー・一般常識・履歴書の書き方・作文・面接対策等の指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士、初級障がい者スポーツ指導員、アロマコーディネーター等。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	1 人	4.5%
（中途退学の主な理由）進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） メンタル面で問題を抱える学生に対しては、臨床心理士資格を有し、公立の不登校生徒援助施設でのスタッフとして実務経験もある専任教員によるカウンセリングを行っている。学業が不振な学生に対しては、専任講師が中心となり、非常勤講師の協力も得て、補講や補充授業を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
心理・医療事務科	100,000 円	620,000 円	280,000 円	
介護福祉科	100,000 円	620,000 円	370,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HPに掲載している。 http://www.oiw.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
専修学校における学校評価ガイドラインに基づき、業界関係者、卒業生、保護者などの学校関係者で組織される「学校関係者評価委員会」を設置し、学校が行う自己点検評価の結果に対して外部関係者の評価や助言等を柔軟に取り入れることで、教育活動の改善を図るとともに、自己評価の客観性および透明性を確保しつつ、適正かつ健全な学校運営を目指します。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
2020 年度から評価を確実に実施するために委員の選任を行います。		
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度から評価を確実に実施し、ホームページに掲載します。		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度から評価を確実に実施し、ホームページに掲載します。 http://www.oiw.ac.jp/
--

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（様式2号の1関係）

設置者名 学校法人 夕陽丘学院

学校名 大阪国際福祉専門学校

学科名	実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は事業時数	省令で定める基準単位数又は授業時間数	実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)をホームページにて公表している場合のホームページアドレス ※1クリックで授業計画(シラバス)が確認できるアドレスを記載してください。
<記入例> A学科	資格検定対策	70	160	http://www.****.x.x.lg.jp/
	インターンシップ実習	100		
	A学科計	170		
B学科	ビジネス実務	60	160	http://www.****.△△.lg.jp/
	ビジネスキャリア	110		
	B学科計	170		
心理・医療事務科	心理学概論Ⅰ・Ⅱ	60時間	160時間	http://www.oiw.ac.jp
	行動心理学Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	発達心理学Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	臨床心理学Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	心理療法Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	色彩心理学	30時間		
	臨床医学概論Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	解剖学と生理学Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	医薬と検査Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	公衆衛生学	30時間		
	医学・医療用語	30時間		
	医療秘書実務	30時間		
	医療事務総論	30時間		
	医療事務演習Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	医療事務演習Ⅲ	30時間		
	医事コンピュータ演習Ⅰ	30時間		
	情報処理Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	検定試験対策Ⅰ	30時間		
	心理測定法Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	社会心理学Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	カウンセリング心理学	60時間		
	臨床心理学実験実習Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	芸術療法	30時間		
	精神保健論	30時間		
	医事コンピュータ演習Ⅱ	30時間		
	診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	疾病コーディング演習	30時間		
	医師事務作業補助実務演習	30時間		
	社会福祉概論	30時間		
	介護概論	30時間		
	検定試験対策Ⅱ	30時間		
	検定試験対策Ⅲ	30時間		
	医療秘書実務実習	80時間		
	心理・医療事務科 計	1490時間		
介護福祉科	人間の尊厳と自立	30時間	160時間	http://www.oiw.ac.jp
	人間関係とコミュニケーション	30時間		
	社会と制度の理解Ⅰ	30時間		
	ビジネス実務	30時間		
	介護の基本Ⅰ	60時間		
	介護の基本Ⅱ	60時間		
	コミュニケーション技術A	30時間		
	コミュニケーション技術B	30時間		
	生活支援技術Ⅰ	30時間		
	生活支援技術Ⅱ	30時間		
	生活支援技術Ⅲ	30時間		
	生活支援技術Ⅳ	30時間		
	生活支援技術Ⅴ	30時間		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（様式2号の1関係）

設置者名 学校法人 夕陽丘学院

学校名 大阪国際福祉専門学校

学科名	実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は事業時数	省令で定める基準単位数又は授業時間数	実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)をホームページにて公表している場合のホームページアドレス ※1クリックで授業計画(シラバス)が確認できるアドレスを記載してください。
介護福祉科	生活支援技術Ⅵ	30時間	(160時間)	http://www.oiw.ac.jp
	生活支援技術（障害Ⅰ）	30時間		
	介護過程Ⅰ	30時間		
	介護過程Ⅱ	30時間		
	介護過程Ⅲ	30時間		
	介護総合演習Ⅰ	60時間		
	発達と老化の理解	60時間		
	認知症の理解Ⅰ	30時間		
	障害の理解Ⅰ	30時間		
	こころとからだのしくみⅠ	30時間		
	こころとからだのしくみⅡ	30時間		
	こころとからだのしくみⅢ	30時間		
	医療的ケアⅠ	60時間		
	情報処理Ⅰ・Ⅱ	60時間		
	介護福祉特講Ⅱ	30時間		
	施設実習Ⅰ	96時間		
	訪問通所実習	32時間		
	居宅介護実習	32時間		
	施設実習Ⅱ	110時間		
	社会と制度の理解Ⅱ	30時間		
	フィールドワーク	60時間		
	介護の基本Ⅲ	30時間		
	介護の基本Ⅳ	30時間		
	生活支援技術Ⅶ	30時間		
	生活支援技術（障害Ⅱ）	30時間		
	介護過程Ⅳ	30時間		
	介護過程Ⅴ	30時間		
	介護総合演習Ⅱ	60時間		
	認知症の理解Ⅱ	30時間		
	障害の理解Ⅱ	30時間		
	こころとからだのしくみⅣ	30時間		
	医療的ケアⅡ	60時間		
	介護福祉特講Ⅲ	30時間		
	介護福祉特講Ⅳ	30時間		
	介護保険事務	30時間		
	障がい者スポーツ概論	30時間		
	アロマセラピー	30時間		
	介護福祉科 計	1920時間		

理 事・監 事 名 簿

1 理事名簿

	役職名	氏 名	選任区分	任 期	主な職業	備考(○印は外部理事)
No.1	理事長	白山 芳太郎	3	平成30年4月1日 ～ 令和4年3月31日	夕陽丘学院理事長	
No.2	専務理事	窪津 典明	1	平成30年4月1日 ～ 令和4年3月31日	専修学校夕陽丘予備校校長	
No.3		鈴木 利男	3	平成28年7月1日 ～ 令和2年6月30日	大阪国際福祉専門学校校長	
No.4		長田 方江	2	平成28年7月1日 ～ 令和2年6月30日	専修学校夕陽丘予備校経理次長	
No.5		溝上 有紀子	3	平成30年2月19日 ～ 令和4年2月18日	夕陽丘学院総務次長	
No.6		白山 久美子	2	平成29年4月1日 ～ 令和3年3月31日	元高校講師	
No.7		伊藤 健一	2	平成31年4月1日 ～ 令和5年3月31日	会社社長	○
No.8		大貫 典彦	3	平成31年4月1日 ～ 令和5年3月31日	税理士事務所副所長	○

※理事専任区分 1 校長 2 評議員 3 学識経験者、その他

2 監事名簿

	氏 名	任 期	主な職業	評議員との兼職有無	備考(○印は外部監事)
No.1	柳原 勝栄	平成30年2月19日 ～ 令和4年2月18日	会社会長	無	○
No.2	中尾 俊介	平成30年2月19日 ～ 令和4年2月18日	元会社役員	無	○

厳格な成績管理の実施

【授業科目の学修成果の評価方法】

教科の評価は各学科目ごとに 100 点満点で、60 点以上を合格点とする。評価の割合は、試験（実技・レポート・提出物等を含む）評価 70 %、出席評価 20 %、平常（授業態度等）評価 10 %で行う。成績票には 4 段階で表し、『A・B・C・D』とする。「D（実習は 5 段階評価で E）」は不合格である。不合格と評価された科目については再試験（実習の場合は再実習）を受験することができる。

前期・後期での試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を上記に記載の割合で数値化し、分布状況を把握し、管理している。

但し、欠席時間数が 2 / 3（実習のみ 4 / 5）に満たない者は、履修認定及び認定試験を受けられない。進級にあっては、学業（実習）成績及び出席状況を確認し、進級認定会議を経て認定する。

平成30年度

平成30年 4月 1日から
平成31年 3月31日まで

計 算 書 類

大阪市天王寺区堀越町4番31号

学校法人 夕陽丘学院

資金収支計算書

平成30年 4月 1日から
平成31年 3月 31日まで

（単位：円）

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	[218,880,000]	[218,410,192]	[469,808]
手数料収入	[360,000]	[591,700]	[△ 231,700]
寄付金収入	[0]	[0]	[0]
補助金収入	[18,000]	[19,106]	[△ 1,106]
資産売却収入	[0]	[0]	[0]
付随事業・収益事業収入	[48,300,000]	[50,120,250]	[△ 1,820,250]
受取利息・配当金収入	[61,500]	[90,440]	[△ 28,940]
雑 収 入	[23,750,000]	[23,874,455]	[△ 124,455]
借入金等収入	[40,000,000]	[40,000,000]	[0]
前受金収入	[144,350,000]	[129,077,300]	[15,272,700]
その他の収入	[70,833,191]	[152,141,507]	[△ 81,308,316]
資金収入調整勘定	[△ 146,381,400]	[△ 150,093,227]	[3,711,827]
前年度繰越支払資金	166,810,258	166,810,258	
収入の部合計	566,981,549	631,041,981	△ 64,060,432
支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	[119,700,000]	[114,477,002]	[5,222,998]
教育研究経費支出	[79,010,000]	[78,744,425]	[265,575]
管理経費支出	[156,816,500]	[78,995,561]	[77,820,939]
借入金等利息支出	[200,000]	[184,211]	[15,789]
借入金等返済支出	[40,000,000]	[10,000,000]	[30,000,000]
施設関係支出	[2,000,000]	[2,950,000]	[△ 950,000]
設備関係支出	[3,400,000]	[2,573,640]	[826,360]
資産運用支出	[50,540,000]	[31,302,862]	[19,237,138]
その他の支出	[86,490,808]	[170,482,694]	[△ 83,991,886]
資金支出調整勘定	[△ 16,817,047]	[△ 16,505,631]	[△ 311,416]
翌年度繰越支払資金	93,861,288	157,837,217	△ 63,975,929
支出の部合計	615,201,549	631,041,981	△ 15,840,432

事業活動収支計算書

平成30年 4月 1日から
平成31年 3月 31日まで

(単位：円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		学生生徒等納付金	[218,880,000]	[218,410,192]	[469,808]
		手 数 料	[360,000]	[591,700]	[△ 231,700]
		寄付金	[0]	[0]	[0]
		經常費等補助金	[18,000]	[19,106]	[△ 1,106]
		付随事業収入	[96,520,000]	[50,120,250]	[46,399,750]
		雑収入	[23,750,000]	[23,874,455]	[△ 124,455]
		教育活動収入計	339,528,000	293,015,703	46,512,297
		活動支出の部	科 目	予 算	決 算
活動支出の部	人 件 費	[120,300,000]	[120,364,552]	[△ 64,552]	
	教育研究経費	[113,510,000]	[109,043,047]	[4,466,953]	
	管理経費	[158,616,500]	[81,042,543]	[77,573,957]	
	徴収不能額等	[0]	[240,000]	[△ 240,000]	
	教育活動支出計	392,426,500	310,690,142	81,736,358	
	教育活動収支差額	△ 52,898,500	△ 17,674,439	△ 35,224,061	
	教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算
受取利息・配当金			[61,500]	[90,440]	[△ 28,940]
その他の教育活動外収入			[0]	[0]	[0]
教育活動外収入計			61,500	90,440	△ 28,940
事業活動支出の部 <th>科 目</th> <th>予 算</th> <th>決 算</th> <th>差 異</th>		科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	[200,000]	[184,211]	[15,789]
		その他の教育活動外支出	[0]	[0]	[0]
		教育活動外支出計	200,000	184,211	15,789
		教育活動外収支差額	△ 138,500	△ 93,771	△ 44,729
経常収支差額			△ 53,037,000	△ 17,768,210	△ 35,268,790
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	[0]	[0]	[0]
		その他の特別収入	[0]	[0]	[0]
		特別収入計	0	0	0
	事業活動支出の部 <th>科 目</th> <th>予 算</th> <th>決 算</th> <th>差 異</th>	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	[0]	[0]	[0]
		その他の特別支出	[0]	[0]	[0]
基本金組入前当年度収支差額			△ 53,037,000	△ 17,768,210	△ 35,268,790
基本金組入額合計			△ 6,416,680	△ 4,427,880	△ 1,988,800
当年度収支差額			△ 59,453,680	△ 22,196,090	△ 37,257,590
前年度繰越収支差額			759,769,406	759,769,406	0
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			700,315,726	737,573,316	△ 37,257,590
(参考)					
事業活動収入計			339,589,500	293,106,143	46,483,357
事業活動支出計			392,626,500	310,874,353	81,752,147

貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	[4,006,463,987]	[4,001,983,089]	[4,480,898]
有形固定資産	[2,468,232,066]	[2,495,054,030]	[26,821,964]
特定資産	[0]	[0]	[0]
その他の固定資産	[1,538,231,921]	[1,506,929,059]	31,302,862
流動資産	[168,627,447]	[171,635,310]	[△ 3,007,863]
資産の部合計	4,175,091,434	4,173,618,399	1,473,035
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	[57,266,750]	[51,379,200]	[5,887,550]
流動負債	[173,144,903]	[159,791,208]	[13,353,695]
負債の部合計	230,411,653	211,170,408	19,241,245
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	[3,207,106,465]	[3,202,678,585]	[4,427,880]
繰越収支差額	[737,573,316]	[759,769,406]	[△ 22,196,090]
純資産の部合計	3,944,679,781	3,962,447,991	△ 17,768,210
負債及び純資産の部合計	4,175,091,434	4,173,618,399	1,473,035

第6号様式

財 産 目 録

単位 円

1. 資産総額	4,175,091,434
I 固定資産	4,006,463,987
II 流動資産	168,627,447
2. 負債総額	230,411,653
I 固定負債	57,266,750
II 流動負債	173,144,903
3. 正味財産（1－2）	3,944,679,781

内 訳

1. 資産総額	4,175,091,434
I 固定資産	4,006,463,987
土地	1,856,614,059
建物	589,885,636
教育研究用機器備品	2,634,529
その他機器備品	6,134,699
図書	6,734,143
立木	6,229,000
電話加入権	1,653,768
有価証券	4,264,035
出資金	20,000
収益事業元入金	1,531,603,974
保証金	690,144
II 流動資産	168,627,447
現金預金	157,837,217

未収入金	5,204,827
前払金	5,485,403
仮払金	100,000

2. 負債総額	230,411,653
I 固定負債	57,266,750
退職給与引当金	57,266,750
II 流動負債	173,144,903
短期借入金	30,000,000
未払金	13,513,770
前受金	129,077,300
預り金	553,833

上記は、平成31年3月31日現在における当学校法人の財産目録である

大阪市天王寺区堀越町4番31号

学校法人 夕陽丘学院

理 事 長 白山芳太郎



学校法人夕陽丘学院

平成30年度 事業報告書

1.法人の概要

法人名 学校法人夕陽丘学院
代表者 理事長 白山芳太郎
住所 大阪市天王寺区堀越町4番31号
電話 06-6771-4803
FAX 06-6771-4421

設置する学校

住所 大阪市天王寺区夕陽丘町3番10号
名称 大阪国際福祉専門学校

入学定員及び学生数の状況

学 科	入学定員(人)	実人数(人)	入学定員(人)	実人数(人)	入学定員(人)	実人数(人)
	1 年		2 年		合 計	
心理・医療事務科	40名	18名	40名	4名	80名	22名
介護福祉科	20名※	15名	20名※	7名	40名※	22名
合 計	60名	33名	60名	11名	120名	44名

※介護福祉科は各学年定員40名の内20名を大阪府委託訓練の為に定員留保

役員・教職員の概要

理事 6名
監事 2名
評議員 14名
教職員 46名 (うち教員40名 職員6名)

2.事業の概要

教育方針

21世紀にふさわしい国際的な視野を持ち、福祉社会に貢献できる人材の育成をおこなう。各学科の専門教育を通じて、人を思いやる温かい心と豊かな人間性を育むことを基本理念とする。

当該年度の事業の概要

- ・付帯事業として「社会福祉士養成通信課程」(就業期間1年6ヶ月)の実施
29年度生 140名
30年度生 140名
- ・大阪府委託事業 離職者対象の職業訓練「介護福祉士資格コース」(2年)の受託
30年度訓練生 5名

当該年度の主な事業

実施行事等

- | | |
|-----|--|
| 4月 | オリエンテーション・ガイダンス 入学式 授業開始 健康診断 春季合同ゼミ
オープンキャンパス 社会福祉士養成通信課程開講
社会福祉士通信課程スクーリング 大阪府委託事業「介護福祉士資格コース」開講 |
| 5月 | 保護者会 オープンキャンパス
社会福祉士通信課程スクーリング |
| 6月 | 社会施設見学 オープンキャンパス AO入試エントリー開始
社会福祉士通信課程スクーリング |
| 7月 | 前期試験 オープンキャンパス
社会福祉士通信課程スクーリング |
| 8月 | 介護福祉科施設実習 心理・医療事務科実習 オープンキャンパス AO入試出願開始
社会福祉士通信課程スクーリング 社会福祉士国家試験対策講座開講 |
| 9月 | 介護福祉科施設実習 心理・医療事務科実習 社会福祉士通信課程スクーリング
オープンキャンパス 社会福祉士養成通信課程2017年度生修了 |
| 10月 | 願書受付開始 後期授業開始 社会福祉士通信課程スクーリング
社会福祉士国家試験対策講座終講 |
| 11月 | 学園祭 社会施設見学 |
| 12月 | 介護福祉士国家試験対策集中講義 介護福祉科施設実習 |
| 1月 | 介護福祉士国家試験 |
| 2月 | 合同ライフゼミ 後期試験 介護福祉科施設実習 社会福祉士国家試験 |
| 3月 | 介護福祉科施設実習 卒業式・終了式 |

教職員研修

- ・大阪介護福祉士養成校連絡協議会教員研究部会参加

備品教具等購入、校舎改修等

- ・3階IT教室授業用パソコン及び事務所業務用パソコンウイルス対策ソフト更新
- ・医療事務演習教具・教材購入
- ・屋上空調機本体の濾過装置フロート、熱交換器、カートリッジフィルター取替
- ・消防連結送水管耐圧試験、感知器取替等

令和1年5月26日

監 事 監 査 報 告 書

学校法人 夕陽丘学院

理事会 御中

評議員会 御中

学校法人 夕陽丘学院

監事 柳原 勝栄

柳原 勝栄



監事 中尾 俊介

中尾 俊介



私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人夕陽丘学院寄附行為第16条の規程に基づき学校法人夕陽丘学院の平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日）の業務並びに財産の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧するなど必要とおもわれる監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人夕陽丘学院の業務及び財産の状況は適切であり、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認める。

以 上

自己点検・自己評価(専門課程)

I. 本校における自己点検・自己評価の取組み

本校では、自己点検・自己評価を学校教育法および同法施行の改正に沿う形で、実施に取り組んでいる。

II. 自己点検・自己評価の結果

(1) 全体的な傾向

高校卒業生の大学進学者数の増加に伴い、近年専門学校を取り巻く環境は、非常に厳しい状況が続いている。しかしながら「心理・医療事務科」は全国的に見ても稀有な学科であり、有益な医療事務資格の取得・主に心理学系を設置している大学への編入学が可能であること等、認知が広まってきている。また「介護福祉科」についても、超高齢化社会控え、しっかりと知識と技術を備えた介護福祉士の存在意義が高まってきている。大阪府の介護福祉士修学資金制度や各施設における処遇改善も徐々にではあるが、志望者に浸透しつつあり、進路選択時（職業選択時）の選択肢にも加わってきていると思われる。

(2) 項目ごとの現状・課題と改善 [自己評価 4…適切、3…ほぼ適切、2…やや不適切、1…不適切]

<1>教育理念・目的・人物育成人材像……4/適切。

①現状

・教育理念の明確化

本校は、1989年の創立以来、「支援を求めている人への適切な対人援助業務が行える人材の育成」に努めており、案内書・ホームページ等への掲載、学校説明会(オープンキャンパス)や保護者会においては丁寧な説明を心掛けている。

②課題

時代の変化とともに、学生や施設利用者の気質・価値観等も大きく変化してきている。今後においては実習・演習等の一層の充実が必要とされる。

評 価 項 目	評 価
理念・目的・育成人材像は定められているか	④・3・2・1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4・③・2・1
理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが生徒保護者等に周知されているか	④・3・2・1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④・3・2・1

<2>学校運営……3/情報公開及び業務の効率化をより一層はかることが課題である。

①現状と課題

・運営方針、事業計画

学校運営に関わる事業計画は、法人の理事会で意思決定されている。その意思に基づき学校責任者が、目標、役割を明確にし、運営している。

・人事や処遇に関する制度

常勤者の採用・人事・研修等については、夕陽丘学院本部が管轄している。また、講師(非常勤講師を含む)の採用や人事・処遇等については大阪国際福祉専門学校が管轄し、学院本部とも連携している。

・情報公開

自己点検・自己評価についてはホームページで公開する。

②今後の改善策

時代の変化とともに、働き方や価値観も様変わりしてきている。こういった状況を踏まえ、今後とも時代に合った内容で、公正かつ適切な方策を講じていく。

評 価 項 目	評 価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④・3・2・1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④・3・2・1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④・3・2・1
人事、給与に関する制度は整備されているか	4・③・2・1
教務、財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④・3・2・1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4・③・2・1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4・3・②・1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4・③・2・1

＜3＞教育活動……3/学習の習慣が乏しい学生のモチベーションアップ方法の構築と、外部研修等を活用した教員の指導力をより向上させていくことが課題。

①現状と課題

設置している「心理・医療事務科」「介護福祉科」の両学科共、支援を求めている方や支援を必要としている方に、知識と技術に加え、“こころ”も兼ね備えた人材として、利用者に寄り添える人材の育成に努めている。

「心理・医療事務科」では、医療事務関係の資格取得や検定での合格を果たせるよう、教育目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。また、大学編入学を目指している学生に対しては、英語対策・小論文対策・面接対策の講座も受講できるよう編成している。

「介護福祉科」では、厚生労働省既定の時間数を上回る豊富な学習量で、“現場で感じ・考え・実行できる”介護福祉士の養成に努めている。加えて、本校では、「心理・医療事務科」も設置してい

ることから、心理系の関連講座をカリキュラムに含めており、利用者の心の動き・心情を理解した支援ができる人材の養成も特色となっている。また、1年次より国家試験合格を果たせるよう、対策講座を行っている。2年生では、「フィールドワーク」で、学生が関心ある施設での体験実習を通じて、将来の就職に向けた情報収集ができる講座も設定している。

両学科に共通する特色としては、実務経験の豊富な教員による講義で“現場で求められている、活躍できる”具体的な人物像がイメージできるようなカリキュラムとなっている。

授業運営については、講師会や職員会議において、専任講師と非常勤講師、教務と教員による意見交換や情報共有に努め、緊密な連携を図っている。また、受講生のアンケートを半期ごとに実施し、意見の聴取にも努め、課題が提示されれば、教務と教員が改善点や見直しに努め、学生の教育目標達成にむけた方策を検討し、実行している。

学生指導は、担任が中心となり定期的に個人面談を実施している。日常生活・学習方法等を把握し、保護者との連携も密に行っている。メンタル的な課題を抱えた学生に対しては、臨床心理士資格を有する教員がカウンセリングを行い改善に向けたアドバイスをしている。

教育活動の一環として、社会施設見学(大阪人権博物館訪問、裁判員裁判の傍聴等)も行い、だれにとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守られなければならないものである人権について深く学ぶとともに、人権講習会では、パラリンピック出場者や司法書士をお招きし、目標に向かってひたむきに頑張る大切さや、SNS等の扱い方等についての講演会を実施した。

評 価 項 目	評 価
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	④・3・2・1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	④・3・2・1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④・3・2・1
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか。	④・3・2・1
関連分野の企業関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか	4・3・②・1
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技実習等）が体系的に位置づけられているか	④・3・2・1
授業評価の実施評価体制はあるか	4・③・2・1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4・③・2・1
成績評価単位認定の基準は明確になっているか	4・③・2・1

資格取得の指導体制, カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④・3・2・1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④・3・2・1
関連分野における業界との連携において優れた教員（本務兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4・3・②・1
関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4・3・②・1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4・3・②・1

＜4＞学修成果……3/卒業生との関係性にやや希薄なところがあるので改善が必要。

〔心理・医療事務科〕のカリキュラムでは、日本医療福祉実務教育協会が指定する科目をすべて満たすことで、卒業時に医療秘書実務士、診療情報管理実務士、医師事務作業補助実務士の資格が取得できるとともに、医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定、診療報酬請求事務能力認定試験での合格を目指せるものとなっている。また、大学への編入学を志望する学生に対しては、英語・小論文・面接対策の講座も設定している。〔介護福祉科〕では、介護福祉士国家試験合格を果たせるよう1年次より対策講座を組み入れている。また、初級障がい者スポーツ指導員・アロマコーディネーター等の資格取得も可能となっている。

就職率については、継続的に就職希望者の全員が就職を果たしており良好と言える。

評 価 項 目	評 価
就職率の向上が図られているか	④・3・2・1
資格取得率の向上が図られているか	④・3・2・1
退学率の低減が図られているか	4・③・2・1
卒業生在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4・3・②・1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4・3・②・1

＜5＞学生支援……3/学生を取り巻く環境も複雑化してきており、教職員の情報収集能力や指導力の向上がより必要となってきた。

クラス担任を中心として、学生生活がスムーズに過ごせるよう学習面・生活面に留意しながら、時期に応じた個人面談を実施している。卒業後の進路・就職についても適切な情報提供・指導を行っている。また、学習内容の修得状況に問題のある学生に対しては、専任講師と非常勤講師が連携を取り

つつ補講・補充授業を行っており、生活面において問題のある学生に対しては、保護者との関係も密にして改善をはかるなどして、退学率の低減を目指している。

評 価 項 目	評 価
進路就職に関する支援体制は整備されているか	4・③・2・1
学生相談に関する体制は整備されているか	4・③・2・1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④・3・2・1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4・③・2・1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4・3・②・1
保護者と適切に連携しているか	4・③・2・1
卒業生への支援体制はあるか	4・3・②・1
高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取組が行われているか	4・3・②・1

<6>教育環境……3/老朽化してきている設備の更新が急がれる。

①現状と課題

専門学校の設置基準に基づき、学生が快適に学習に専念できるスペースと施設と設備を完備している。教具(図書室・閲覧室の書籍、情報機器等も含む)の点検・メンテナンスについては、担当者が定期的に確認・整備を行っている。防災面についても、「危機管理マニュアル」を作成し、教職員は誘導等、各自の役割分担を確認・認識している。火事や地震等の緊急時にも迅速に対応できるよう天王寺消防署立会いのもと、避難訓練を実施している。また、学内外の事故に対応すべく傷害保険に加入するとともに、非常食の備蓄も行っている。

一部老朽化してきている設備等については、日常の補修頻度を上げるなどして修復に努めている。

評 価 項 目	評 価
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4・③・2・1
学内外の実習施設、インターンシップ、研修旅行等について十分な教育体制を整備しているか	4・③・2・1
防災に対する体制は整備されているか	④・3・2・1

＜7＞学生募集……4/情報発信力の強化が急務。

①現状と課題

Ⅱの（1）でも触れたように、専門学校を取り巻く環境は厳しいものが続いているが、教育内容のより一層の充実に努め、社会的ニーズに対応していけるよう、柔軟であり、堅実な学校運営に努めていく。入学希望者が進路選択をする際の情報提供を、ホームページやパンフレット・オープンキャンパス等で分かりやすく、必要な情報を的確に理解してもらえるよう今後においても留意し、入学者の確保に努めていきたい。

入学要項には、選考方法や学費を記載し、適正かつ公正に実施・徴収している。

評 価 項 目	評 価
学生募集活動は、適正に行われているか	④・3・2・1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④・3・2・1
学納金は妥当なものとなっているか	④・3・2・1

＜8＞財務関係……3/本校での学びの魅力をより向上させ、発信していくことが課題である。

財務基盤については、学院本部と連携し、事業の継続がはかれるよう理事会等の承認を経て、管理が行われている。年度ごとの予算・収支計画についても、年度計画に基づき年2回、理事会ではかれ、会計監査も適正に行われている。今後においても、安定した経営状態を維持できるよう入学生生の確保に努めていきたい。

評 価 項 目	評 価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4・③・2・1
予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4・③・2・1
財務について会計監査が適正に行われているか	④・3・2・1
財務情報公開の体制整備はできているか	4・3・2・①

＜9＞法令順守……3/自己評価の結果の公表に努めたい。

法令、専修学校設置基準を順守と適正な運営がなされているとともに、個人情報の保護等に留意し、適正な管理に努めている。

評 価 項 目	評 価
法令, 専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④・3・2・1
個人情報に関し, その保護のための対策がとられているか	④・3・2・1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4・③・2・1
自己評価結果を公開しているか	4・3・②・1

<10>地域貢献……3/学校施設等を利用した地域との関係性をより深めていくことが課題。

校舎周辺の美化に努めるとともに、各施設からのボランティア活動依頼等についても、積極的に学生に紹介し、活動している。

評 価 項 目	評 価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか	4・3・②・1
生徒のボランティア活動を奨励, 支援しているか	4・③・2・1
地域に対する公開講座教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか	④・3・2・1

2019 年度確認申請書類

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪国際福祉専門学校
設置者名	学校法人 夕陽丘学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養課程	心理・医療事務科	夜・通信	1,490 時間	160 時間	
		夜・通信			
教育・社会福祉課程	介護福祉科	夜・通信	1,920 時間	160 時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて一覧表を公開している。 http://www.oiw.ac.jp/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪国際福祉専門学校
設置者名	学校法人 夕陽丘学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。<http://www.oiw.ac.jp/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(株) ITセンター 代表	2019.4.1 ~ 2023.3.31	経営アドバイザー
非常勤	東野税理士事務所 副所長	2019.4.1 ~ 2023.3.31	税務アドバイザー
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪国際福祉専門学校
設置者名	学校法人 夕陽丘学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 設置している両学科に共通している目標は、“対人援助業務に携わる者”としての人格形成や人間力の構築・向上をめざし、支援を求めている利用者に寄り添える人材の育成が達成できるよう方針を定め、学習計画を作成している。 [心理・医療事務科] 「日本医療福祉実務教育協会」の認定を受け、卒業時に3つの医療事務が取得できるカリキュラムとしている。また、知識や技術の修得のみに留まらず、心理学も学んでいることで、利用者とのコミュニケーション時(情報収集)では、円滑に進めることができる。 [介護福祉科] 厚生労働省が規定している時間数を上回る学習量で、支援が求められているあらゆる場面に対応できる介護福祉士の養成に努めている。また、1年次後期より、介護福祉士国家試験に合格できるよう対策講座も設定している。	
授業計画書の公表方法	HPに掲載している。 http://www.oiw.ac.jp/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 教科の評価は各学科目ごとに100点満点で、60点以上を合格点とする。評価の割合は、試験(実技・レポート・提出物等を含む)評価70%、出席評価20%、平常(授業態度等)評価10%で行う。成績票には4段階で表し、『A・B・C・D』とする。「D(実習は5段階評価でE)」は不合格である。不合格と評価された科目については再試験(実習の場合は再実習)を受験することができる。 前期・後期での試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を上記に記載の割合で数値化し、分布状況を把握し、管理している。 但し、欠席時間数が2/3(実習のみ4/5)に満たない者は、履修認定及び認定試験を受けられない。進級にあつては、学業(実習)成績及び出席状況を確認し、進級認定会議を経て認定する。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各授業科目担当者から提出された前期・後期での試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を2.で記載の割合で数値化し、合計値を受講数で除した分布状況を把握し、管理している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HPに掲載している。 http://www.oiw.ac.jp/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を確認し、卒業認定会議を経て認定する。 本校所定の課程を修了した者には、学習評価のうえ卒業証書を授与する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HPに掲載している。 http://www.oiw.ac.jp/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪国際福祉専門学校
設置者名	学校法人 夕陽丘学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPに掲載している。 http://www.oiw.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	心理・医療事務科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,860 単位時間／単位	1,470 単位時間 ／単位	480 単位時間 ／単位	80 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2,030 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		39 人	0 人	5 人	19 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） “対人援助業務に携わる者”としての人格形成や人間力の構築・向上をめざし、支援を求めている利用者に寄り添える人材の育成が達成できるよう方針を定め、学習計画を作成している。 「日本医療福祉実務教育協会」の認定を受け、卒業時に3つの医療事務が取得できるカリキュラムとしている。また、知識や技術の修得のみに留まらず、心理学も学んでいることで、利用者とのコミュニケーション時(情報収集)では、円滑に進めることができる。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目担当者から提出された前期・後期での試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を、試験(実技・レポート・提出物等を含む)評価70%、出席評価20%、平常(授業態度等)評価10%の割合で数値化し、合計値を受講数で除した分布状況を把握し、管理している。

卒業・進級の認定基準
(概要) 試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を確認し、進級・卒業認定会議を経て認定する。 本校所定の課程を修了した者には、学習評価のうえ卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) クラス担任制を導入している。学生生活が、円滑に過ごせるよう時期に応じ、個別面談を実施している。また、就職や進学について学生個々の状況把握にも努め、相談・助言を行っている。学習面・生活面で問題点のある学生に対しては、保護者との連携も密に行い、改善がはかれるようアドバイスをしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	2 人 (50%)	2 人 (50%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 社会医療法人、医療法人、社会福祉法人等。			
(就職指導内容) 教員・進路指導担当者により、接遇マナー・一般常識・履歴書の書き方・作文・面接対策等の指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 医療秘書実務士、診療情報管理実務士、医師事務作業補助実務士、医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定、電子カルテ実技検定試験等。			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	4 人	18.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康上の問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) メンタル面で問題を抱える学生に対しては、臨床心理士資格を有し、公立の不登校生徒援助施設でのスタッフとして実務経験もある専任教員によるカウンセリングを行っている。学業が不振な学生に対しては、専任講師が中心となり、非常勤講師の協力も得て、補講や補充授業を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専 門 課 程	介護福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 250 単位時間／単位	1, 590 単位時間 ／単位	270 単位時間 ／単位	450 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2, 310 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		25 人	0 人	3 人	13 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） “対人援助業務に携わる者”としての人格形成や人間力の構築・向上をめざし、支援を求めている利用者に寄り添える人材の育成が達成できるよう方針を定め、学習計画を作成している。 「日本医療福祉実務教育協会」の認定を受け、卒業時に3つの医療事務が取得できるカリキュラムとしている。また、知識や技術の修得のみに留まらず、心理学も学んでいることで、利用者とのコミュニケーション時(情報収集)では、円滑に進めることができる。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目担当者から提出された前期・後期での試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を、試験（実技・レポート・提出物等を含む）評価70%、出席評価20%、平常（授業態度等）評価10%の割合で数値化し、合計値を受講数で除した分布状況を把握し、管理している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を確認し、進級・卒業認定会議を経て認定する。 本校所定の課程を修了した者には、学習評価のうえ卒業証書を授与する。
学修支援等
（概要） クラス担任制を導入している。学生生活が、円滑に過ごせるよう時期に応じ、個別面談を実施している。また、就職や進学について学生個々の状況把握にも努め、相談・助言を行っている。学習面・生活面で問題点のある学生に対しては、保護者との連携も密に行い、改善がはかれるようアドバイスをしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	1 人 (14%)	6 人 (86%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 社会医療法人、医療法人、社会福祉法人等。			
（就職指導内容） 教員・進路指導担当者により、接遇マナー・一般常識・履歴書の書き方・作文・面接対策等の指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士、初級障がい者スポーツ指導員、アロマコーディネーター等。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	1 人	4.5%
（中途退学の主な理由）進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） メンタル面で問題を抱える学生に対しては、臨床心理士資格を有し、公立の不登校生徒援助施設でのスタッフとして実務経験もある専任教員によるカウンセリングを行っている。学業が不振な学生に対しては、専任講師が中心となり、非常勤講師の協力も得て、補講や補充授業を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
心理・医療事務科	100,000 円	620,000 円	280,000 円	
介護福祉科	100,000 円	620,000 円	370,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HPに掲載している。 http://www.oiw.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
専修学校における学校評価ガイドラインに基づき、業界関係者、卒業生、保護者などの学校関係者で組織される「学校関係者評価委員会」を設置し、学校が行う自己点検評価の結果に対して外部関係者の評価や助言等を柔軟に取り入れることで、教育活動の改善を図るとともに、自己評価の客観性および透明性を確保しつつ、適正かつ健全な学校運営を目指します。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
2020 年度から評価を確実に実施するために委員の選任を行います。		
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度から評価を確実に実施し、ホームページに掲載します。		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度から評価を確実に実施し、ホームページに掲載します。 http://www.oiw.ac.jp/
--